

THE J こどもひろば 2018
自由が丘お買い物についてのアンケート
結果報告書

自由が丘駅前中央会

2018/07/12

◆ 本調査概要

本調査は、2018年5月26日（土）・27日（日）の両日、自由が丘駅前中央会主催のお祭り「THE J」の「こどもひろば」において、実施されました。その場で自記式アンケートに回答をいただき、回収しました。

回収票数は以下の通りです。

26日（土）82票

27日（日）60票

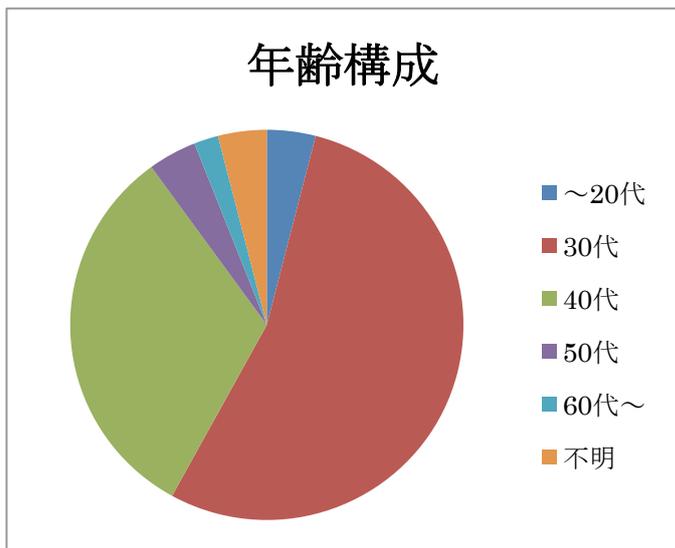
合計 142票

アンケート実施と集計・分析作業：株式会社 PonoLipo 小高美保

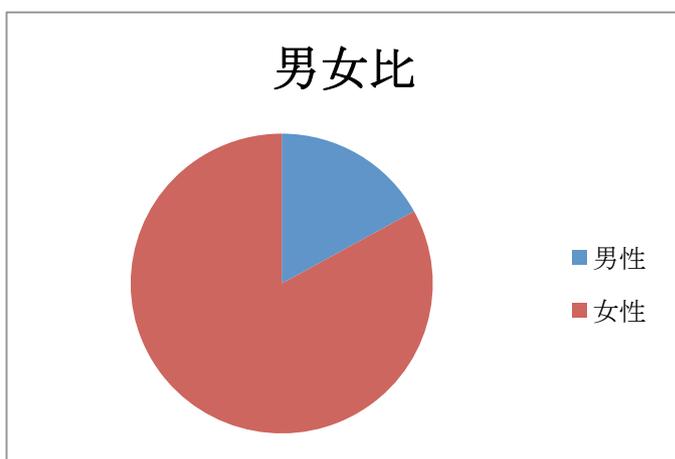
◆回答者プロフィール

2

今回の「THE J こどもひろば」のアンケートに回答して下さった方々のプロフィールは、以下の通りです。30代～40代、平均年齢37歳。8割強が女性。



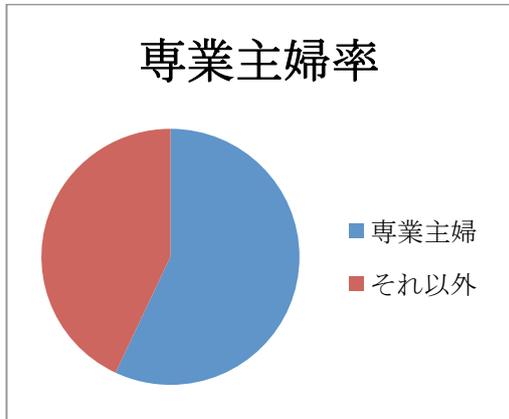
	~20代	30代	40代	50代	60代～	不明
年齢構成	4%	54%	32%	4%	2%	4%



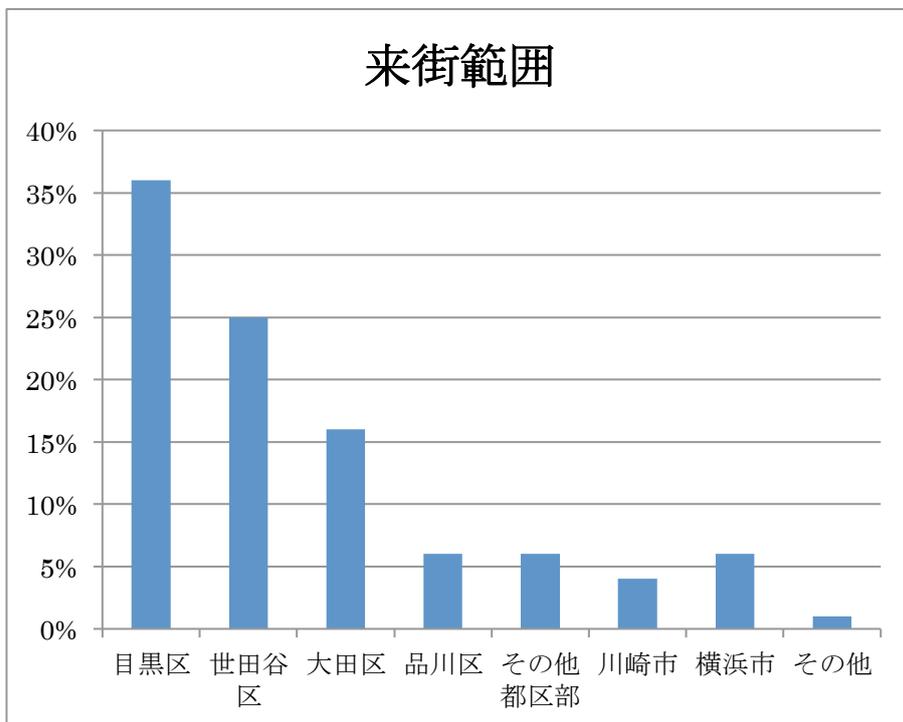
	男性	女性
男女比	17%	83%

専業主婦が全体の約6割を占めています。

6割以上が目黒区、世田谷区の自転車圏内からの来街者で構成されています。



	専業主婦	それ以外
専業主婦率	57%	43%

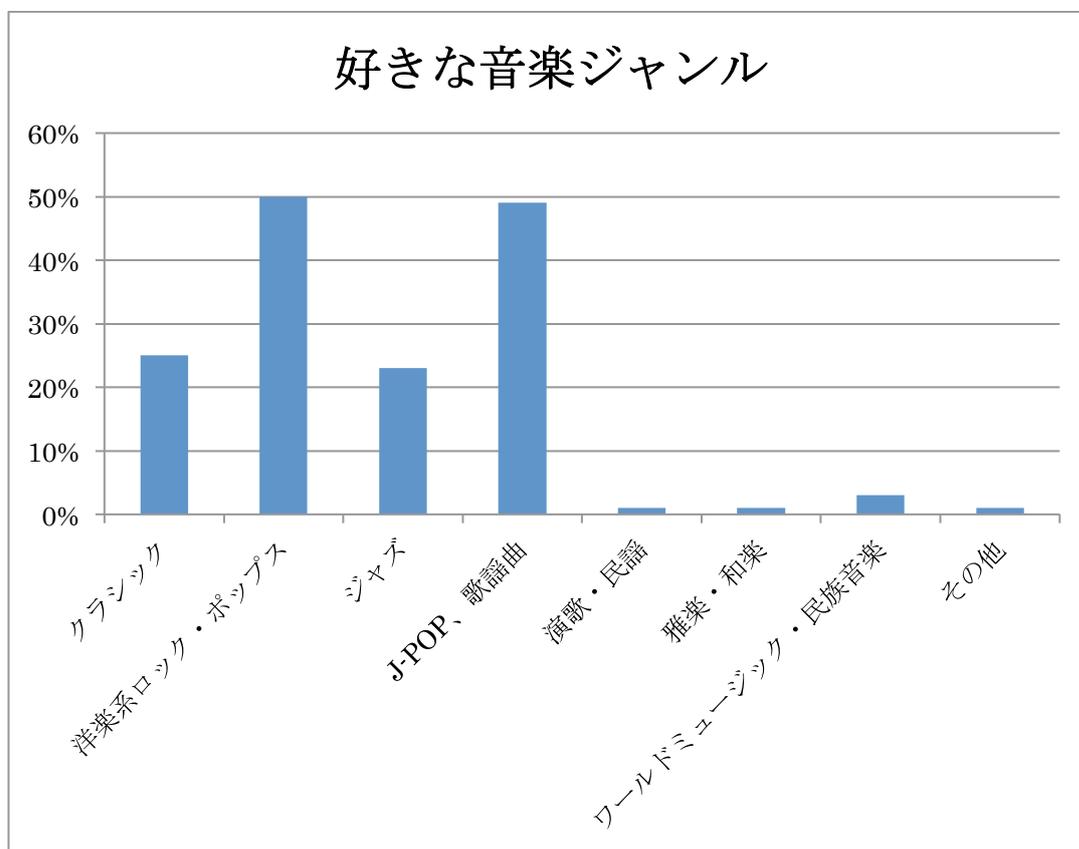


	目黒区	世田谷区	大田区	品川区	その他都区部	川崎市	横浜市	その他
来街範囲	36%	25%	16%	6%	6%	4%	6%	1%

◆ 文化的志向性

音楽感度が高く、洋楽志向を持つ

文学や映画などへのリアクションは低かったのですが、音楽に関しては、積極的に回答がありました。洋楽系ロック・POPSが50%と歌謡曲・JPOPの49%を上回った。クラシック25%、Jazz23%も合わせると、洋楽系への音楽的志向は、かなり高いということが分かりました。

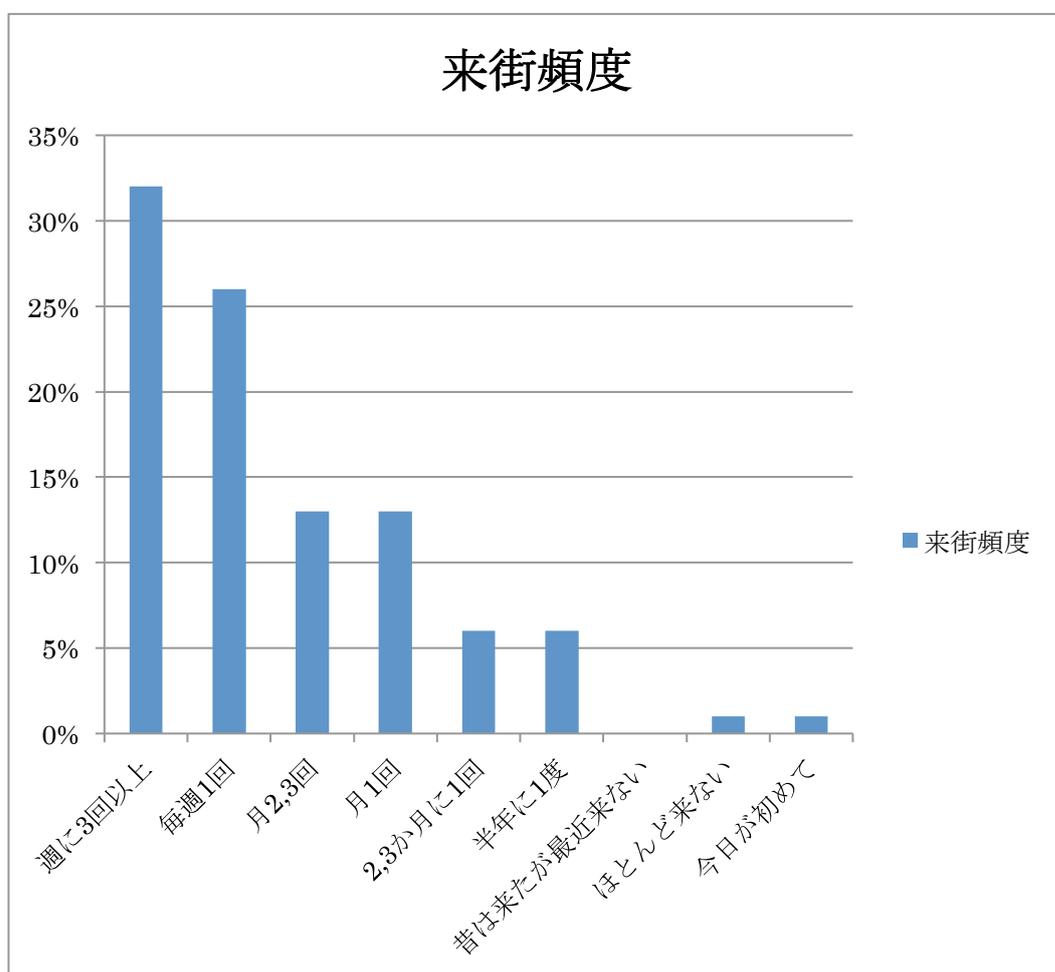


	クラシック	洋楽系 ロック・ ポップス	ジャズ	J-POP、 歌謡曲	演歌・ 民謡	雅楽・ 和楽	ワールド ミュージック・民 族音楽	その 他
好きな音楽 ジャンル	25%	50%	23%	49%	1%	1%	3%	1%

◆来街頻度

日常の街自由が丘

全体の3割強が、週3回以上来街と、自由が丘が日常の街となっています。
6割弱が、毎週訪れると回答しています。



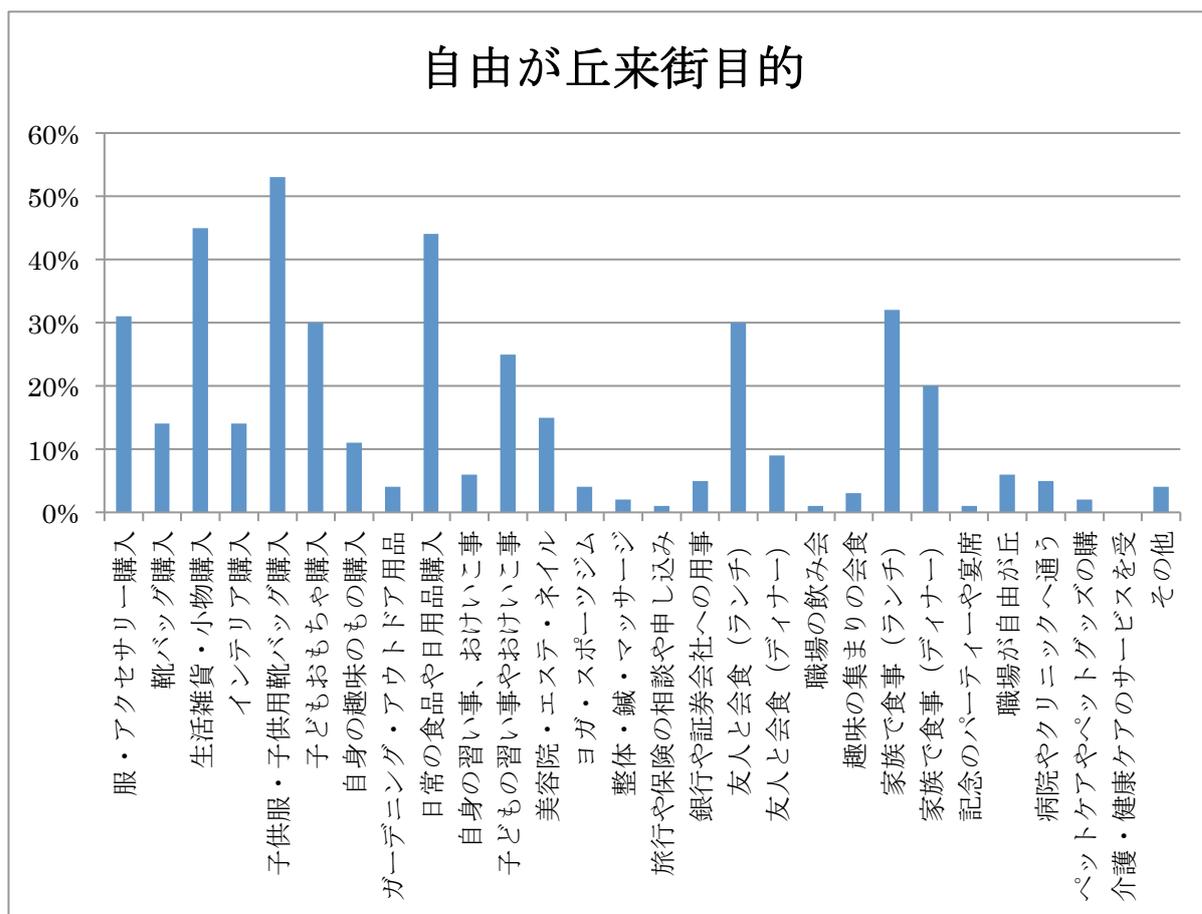
	週に3回以上	毎週1回	月2,3回	月1回	2,3か月に1回	半年に1度	昔は来た最近来ない	ほとんど来ない	今日が初めて
来街頻度	32%	26%	13%	13%	6%	6%	0%	1%	1%

◆来街目的

ハレとケの間、カジュアル×オシャレ感覚の利用

全体の5割を超えた項目は「子供服・子供用バッグなどの購入」。4割以上を超えたのは「生活雑貨・小物購入」と「日常の食品や日用品購入」。子供を中心とした生活の場として利用されていることが分かります。

一方で、「自分の服・アクセサリー購入」「子供のおもちゃ購入」「友人とランチ」「家族でランチ」の4項目で3割を超え、お昼間、家族や友人と、カジュアルなショッピング&ランチを楽しむ、日常の暮らしに彩りを添える楽しい街としての利用も少なくないようです。

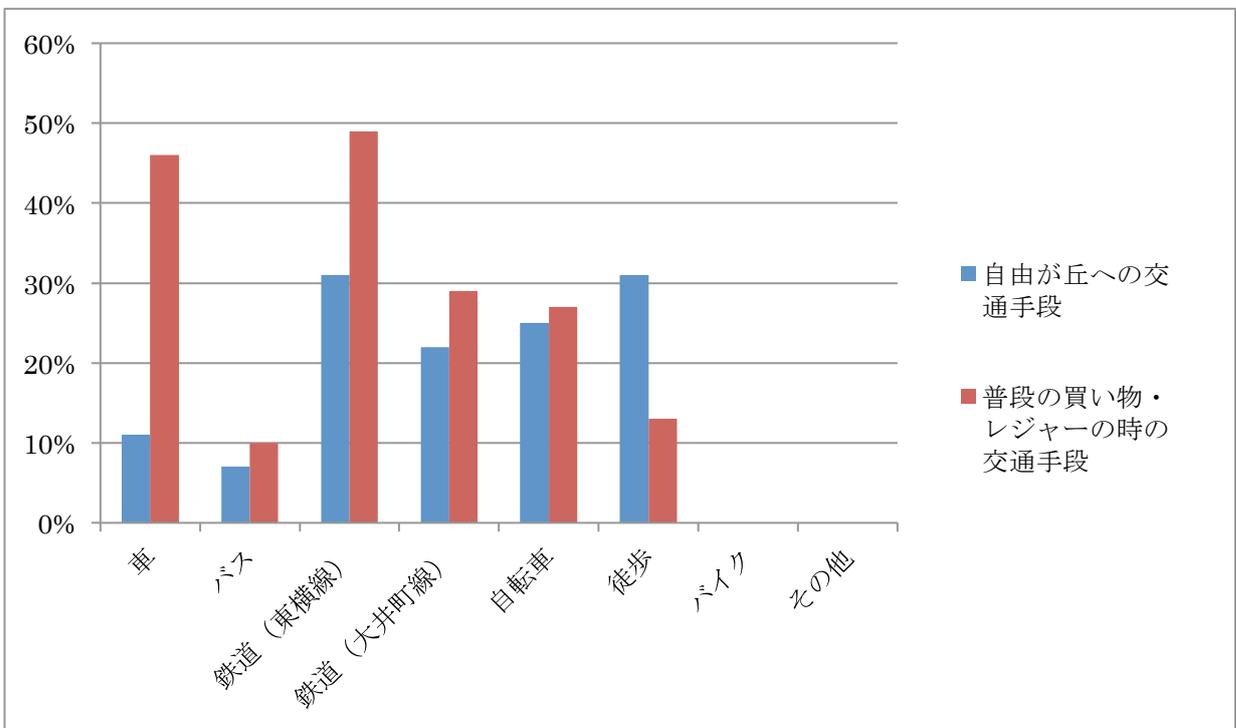


◆利用交通機関

車派約5割も自由が丘へは電車・自転車・徒歩で

普段のショッピングやレジャーの際には、車を利用する人が約5割を占めますが、自由が丘への来街手段は、鉄道・自転車・徒歩に分散しています。

理由としては、自宅が自転車圏内で近いこと、駐車場の使い勝手が悪いこと、車でアクセスが不便な街の構造（小さな商店・施設が広範囲に散らばって点在する）などが考えられます。



	車	バス	鉄道(東横線)	鉄道(大井町線)	自転車	徒歩	バイク	その他
自由が丘への交通手段	11%	7%	31%	22%	25%	31%	0%	0%
普段の買い物・レジャーの時の交通手段	46%	10%	49%	29%	27%	13%	0%	0%

◆ジャンル別お気に入りのお店

8

すべてのジャンルで5以上の回答を得た店舗は、子供関連7店舗、雑貨・インテリア1店舗、お菓子やパン3店舗のみであり、白紙回答も多く、雑誌での情報発信が弱まり、インターネットでの情報取得が中心となっている昨今「お店の名前や場所を明確に記憶しない」傾向が強いことが推察されます。検索エンジンで、その場で検索したお店になんとか行くという形での利用が多いため、よほど印象が強くなければ、記憶に残らないというのが現実ではないでしょうか。

	ファッション	子ども関連
1位	KOE(3)、ユニットワー・デ・コトニエ(3)、無印良品(3)	NEXT(10)、プティマイン(10)
2位	グリーンレーベル(2)、ジャーナルスタンダード(2)、NEXT(2)	BREEZE(9)
3位	キャサリン・ハーネル(1)、NIMES(1)、ユニクロ(1)、ユナイテッドアローズ(1)、リエス(1)、土屋鞆(1)、フリーズマート(1)、CA(1)、SM2(1)、IENA(1)、STEP(1)、J FERRY(1)、マヤ(1)、PLAST(1)、メイドインアース(1)	GAP(7)、PonoLipo(7)、
4位		プティバトー(5)、おもちゃのママ(5)
5位		ファミリア(4)、ユニクロ(4)、マザウエイズ(4)
6位		カレイドスコープ(2)、KOE(2)
7位		イナフ(1)、マザーハウス(1)、託児ルーム・サニーディスマイリング(1)
8位		
9位		
10位		

それぞれの分野で、好きなお店が各人の好みによってバラバラで、分散するのは、小さなお店が散らばって点在する自由が丘の街ならではの結果です。

	雑貨・インテリア	趣味・こだわりの店	手芸や趣味のモノ
1位	私の部屋(7)	Pico(2)	Pico(4)
2位	Today's Special(2)、ナチュラルキッチン(2)、無印良品(2)	ロイブ(1)、ブリキのジョーロ(1)、エグゼクティブタッチ(1)、Today's Special(1)、ビレッジバンガード(1)、ブックファースト(1)、東京書房(1)	ホビーラホビーレ(3)
3位	Shiro(1)、かえるの店(1)、Six(1)、モモ・ナチュラル(1)、ローラ・アシュレイ(1)、タイムレス・コンフォート(1)、みかづきももこ(1)、Dulton(1)、Keyuca(1)、ソレイユ(1)、キャスケットソン(1)、キャトルセゾン(1)、イデー(1)、和雑貨(1)、トレインチの店(1)		チェック&ストライプ(2)
4位			
5位			
6位			
7位			
8位			
9位			
10位			

ネット世代ファミリーの各ショップに対する感情移入の希薄さと多様化する個々人の嗜好性にどう応えていくかは、自由が丘のように小さな個性的な店舗・施設の集積が魅力となる街にとって、その情報発信の仕方・内容も含めて今後の大きな課題です。

	お惣菜や食品	お菓子やパン	その他食品・酒・飲料
1位	東急ストア(4)	浅野屋(12)	成城石井(2)
2位	F&F(3)、ピカール(3)、あおば(3)	バケットラビット(5)、WARA(5)	たねや(1)、イオンリカー(1)、ピーコック(1)、ピアゴ(1)
3位	味芳(2)、稲毛屋(2)、BREEZE(2)、カルディ(2)	パンの田島(3)、モンサンクレール(3)、	
4位	クピド(1)、腰塚(1)、ピーコック(1)、おにぎりやさん(1)、木村さん自然栽培の店(1)、成城石井(1)	モンブラン(2)、ダロワイヨ(2)、ピーコック(2)	
5位		パリ・セヴェイユ(1)、駅のクレープ屋(1)、ブルームス(1)、BAKE(1)、神戸屋キッチン(1)、HAPON(1)、M. KOIDE(1)	
6位			
7位			
8位			
9位			
10位			

和食よりも洋系レストランやカフェの名前が上がりやすいところは、音楽志向でも表れたように、洋系志向が強いライフスタイルが基盤にあることの表れといえます。

	カフェ	イタリアンやフレンチなど洋系 レストラン
1位	メロウブラウン(3)	ラボエム(3)
2位	スターバックス(2)、 GONZO(2)、ベアバーガー (2)、ラテグラフィックス(2)、 JS パンケーキ(2)	Mikiya's(2)
3位	BAKE SHOP(1)、ABC CLUB(1)、リンツ(1)、 WARA(1)、ふなわカフェ(1)、 珈琲館集(1)、fete café (1)、TWG(1)、ルサルカ (1)、リゼッタ(1)、スイーツフ ォレスト(1)、鹿港タピオカ店 (1)	サン・マキアージュ(1)、ラ・ジ ータ(1)、マリスコス(1)、オル ソー・スープストック(1)、エル・ ペスカーレ(1)、SHUTTERS (1)、ラフィーユ(1)、パンコン トマテ(1)、まんぷく(1)、オル ガニコ(1)、カスタネット(1)、 キッチンプラス(1)
4位		
5位		
6位		
7位		
8位		
9位		
10位		

和系のレストラン、居酒屋・飲み屋、その他は、洋系に比べて店舗名を想起する数がかくんと減っています。逆に洋系モダンなアレンジの和レストランなどの新しいコンセプトのお店が出現する可能性もあるのではないのでしょうか。

和食系レストラン	居酒屋・飲み屋	その他
ウルトラ(1)、山久(1)、ちそう(1)、うお然(1)、星火(1)、磯勢(1)、壺番屋ラーメン(1)	牛鉄(1)、川目(1)、きたよし(1)、カプサイシン(1)、びんびや(1)、七味亭(1)、わさび(19、星火(1)、すずや(1)、ワインセラ(1)	花一番(1)、梅華(1)、しょくみえん中華(1)、ベニ亭(1)、蔭山楼(1)、京城園(1)、寿福(1)、香匂(1)、クルン・サイアム(1)、間人(つけ麺)(1)

◆ 自由が丘に欲しい大型施設・公共サービス

子供と一緒に遊びながら時間が過ごせる屋内・屋外スペース

「子供が遊べる場所」(11)、「子供が雨でも遊べる場所」(10)、「子供と遊べる広場のような空間」(9)、「ベビー・子供向けのスペース」(5)、「子供の遊び場がある施設」(4)、「子供向け施設・子供用品店」(2)など、子育て世帯の強い要望として、子供と一緒に楽しく過ごせる開放的かつ雨天対応型の広場空間への要望が強く出ました。

大型の商業施設を要望する声も

「大型のショッピングモール」(16)、「駅ビル」(3)、「デパート」(3)、「アウトレット」(1)、「ホームセンター」(1)などの大型商業施設を求める声もある一方で「大型は二子玉川にあるので、自由が丘には要らない！」(1)という声も。

駐輪場、オムツ替え・授乳室、子連れ対応トイレなどの公共施設

「駐輪場」(12)、「子供と入れるトイレ」(9)、「授乳室」(6)、「オムツ替えスペース」(3)、「休憩場」(3)、「イベントスペース」(1)、「児童館」(1)、「図書館」(1)、「コミュニティカフェ」(1)などの公共施設系の整備を要望する声は多いようです。

サービス系では映画館とスポーツジムに要望

「映画館」(12)、「スポーツジム」(1)を望む声もありました。

◆ 自由が丘に欲しいお店・民間サービス

子連れ OK オープンなカフェ・レストラン

「親子カフェ」「子供の遊び場付き飲食店」「子連れ OK な広くてオープンなカフェ」「子連れカフェ」「子連れで安心な店」「子連れ・ベビーカーで入れるレストラン」「子連れ OK レストラン」「子連れカフェ」「全面禁煙の飲食店」「ベビー可のお店」各 1 計 10 と、それぞれの表現で小さな子供のいる家族みんなでゆっくり楽しくお茶や食事ができる飲食空間を求める要望が多く出ました。

欲しいお店として、具体的な店名・ブランド名が上がったのは「ZARA」(2)、「H&M」(2)「GU」(2)、「コストコ」(1)、「赤ちゃん本舗」(1)、「西松屋」(1)、「モスバーガー」(1)、「Apple Store」(1)、「ロフト」(1)などです。

その他では「本屋」(3)、「ペット可の飲食店」(1)、「手作りや工具のお店」(1)、「子供一時預かり」{1}、「エレベーターのあるお店」(1)などが上がりました。

◆ 街の景観・道路整備についての要望

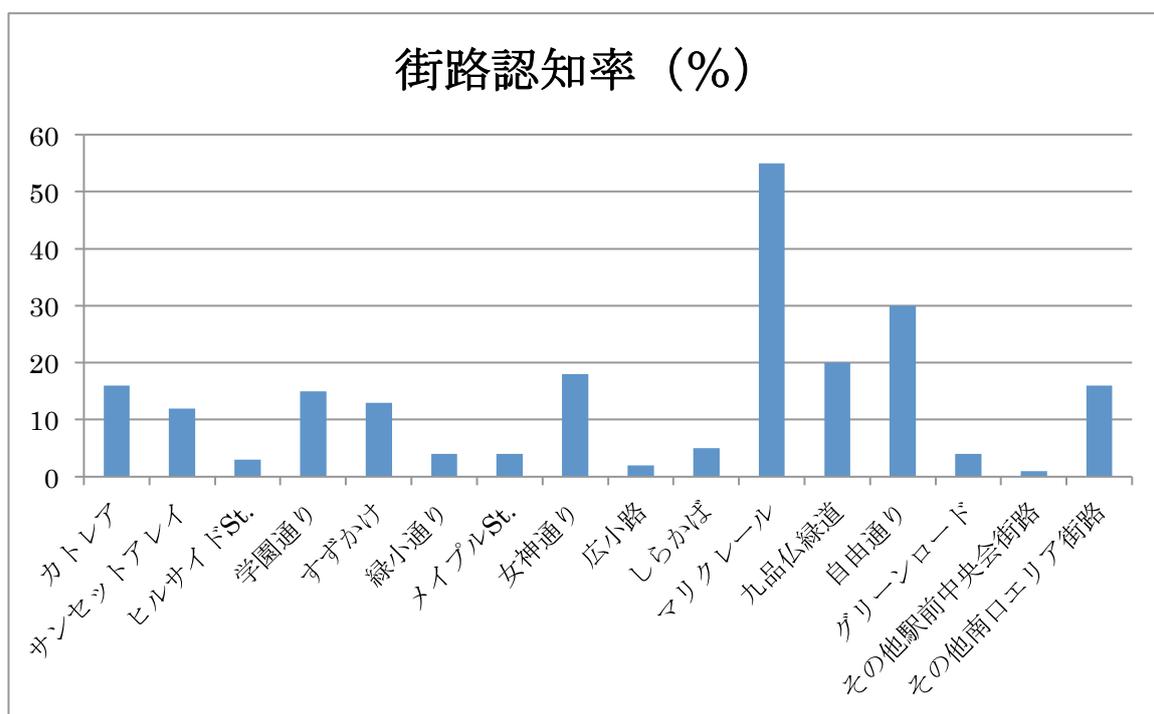
広い歩道と緑のある景観、ベビーカー対応が優先事項

「歩道を広く整備して欲しい」(13)、「緑が多くあると良い」(7)、「ベビーカー対応」(7)、「道幅を広く」(1)、「車が多くて歩きにくい点改善して欲しい」(2)、「雨避け」(2)、「電柱地下化」(2)、「踏切を少なく」(2)、「余り高い建物は避けて欲しい」(1)、「九品仏緑道のようなレンガ敷きでベンチのある街路」(1)、「バス通りの交通整理」(1)、「駅前を広く」(1)、「ガードレールを作って欲しい」(1)などの街路拡幅・歩道整備についての要望が多く寄せられました。

その他としては、「木目のインテリアで」(1)、「ホイップるんを多く出して」(1)、「歩行者天国拡充」(1)、「最近ちょっと混み過ぎ」(1)、「余り大きなビルがないのが、自由が丘の魅力」(1)などの声がありました。

◆ 街路認知

マリ・クレール通り認知のみ5割を上回った。次が自由通りの3割でしたが、他の街路の認知度は、全て2割を下回って低いことが分かります。



◆ 自由が丘の街の思い出

「子供の頃誕生日に天ぷら屋さんに行った」

「子供の頃グラン・パパが大好きだった。自由が丘の思い出。」

「蕎麦屋山久で飲み食い」

「ハロウィンの仮装」

「お祭りが多い」

「サンマを食べた」

「大学生の頃一度住もうと思って家探しした」

「八雲3丁目に10年くらい住んでいた」

「今後住居が近くなる」

「おもちゃのマミーに40年通っている」

「人が多いので休日にはで書けない」

「住んでいて毎日が楽しい」

「焼きカレー」

「一人暮らしをしていた」

「実家が近いので小さい時から行き慣れていて全部好き」

「大好きな街」

「上京して初めて勤務した街、刺激的だった」

「今の夫と付き合い始めた街」

「毎年マリ・クレール祭りとスイーツフェスタが楽しみ」

「学生時代を自由が丘で過ごした」

「生まれ育った街、全てが思い出」